



奈川の人口
平成 27 年 5 月 1 日現在

総世帯数	354 世帯
総人口	790 人
男	374 人
女	416 人

発行 奈川公民館
 発行者 勝山 裕 康
 編集者 公民館報編集委員会
 印刷 (株) プラルト

58災害ヒアリング

今から 32 年前の昭和 58 年。台風 10 号による集中豪雨により、奈川地区で土石流が発生。多量の流木や土砂によって家屋や道路に大きな被害を受けた。



▶ 当時の新聞にも何回も大きく報道された

2月27日と3月5日、松本砂防事務所とNPO法人梓川流域を守る会の協働により、昭和58年におきた集中豪雨による災害の聞き取り調査が夢の森で行われました。

災害から32年、災害防止啓発のために、当時の写真をデジタル化したり、聞き取り調査をして、記録として残す活動をされています。

58災害は大きな災害であったにもかかわらず、亡くなった方がいなかったのは、明るい時間に来た災害であったこと、過去の経験から住民が危ない箇所を知っていて近づかなかったこと、横のつながりが密で、助け合いの精神が強かったことなどがあげられていました。

奈川・安曇合同 人権講演会



3月15日、安曇基幹集落センターで、臨済宗妙心寺派開眼

寺住職、柴田文啓さんによる講演会が開催されました。

ご自身が子供時代に体験された豊橋での空襲の話から始まり、大手機械メーカーで世界を股にかけて活躍されていた当時見た世界の人々の人権についてお話を聞き、世情を知ることができました。

平成27年度 奈川地区町内公民館役員会 4役名簿

役名	氏名	公民館名
会長	忠地 比呂志	古宿
副会長	南 喜八郎	みより
会計	大矢 政喜	黒川渡・湯の原
監事	奥原 三吉	追金

平成27年度 奈川公民館行事予定 (主なもの)

期日	行事名	場所
9月12日(土)	第12回秋の大運動会	奈川小中学校グラウンド
10月4日(日)	第57回町内公民館対抗ソフトボール大会	木曾路原グラウンド
10月31日(土)～11月1日(日)	第56回文化祭	文化センター夢の森
12月18日(金)	クリスマスコンサート	文化センター夢の森

卒業生を励ます会



3月13日に、奈川中学校で奈川地区社会福祉協議会主催の『卒業生を励ます会』が行われました。4月から始まる新生活に向けて、少し緊張気味の卒業生7名でしたが、会の中で一人一人が、これから自分が目指す目標へのプロセスを、具体的に力強く語っている姿に、輝く頼もしさを感しました。

社協から記念品として、アルバムと、奈川ならではの気配りを感じる、それぞれ字体の違った印鑑と印鑑ケースが手渡されました。

福祉ひろばからは、心のこもった手作りのコサージュが贈られました。ゴールであると同時にスタート、それが卒業。7名の皆さん、卒業おめでとうございます。一日一日を大切に、これからはがんばってください。

4月3日、吹く風がまだ冷たく感じるこの日、奈川小学校にて平成27年度の入学式が行われました。

さぞかし緊張しているはず：勝手な思いをいい意味で裏切る堂々とした入場、そして新1年生5人で元気いっぱいの歌声を広い体育館に響かせてくれました。保育園では年長さんとして小さい園児たちのリーダーとして頑張ってきましたが、この日からは大勢の在校生のお兄さん、お姉さんに見守られての新たなスタートです。希望に胸をふくらませて、ワクワクした気持ちで伝わってくる、そんな笑顔をを見せてくれた皆さん、ご入学おめでとうございます。元気ががんばってください。

祝入学式



4月2日、奈川保育園にて、平成27年度の入園式が行われました。

最初のうちは緊張していた入園児6名でしたが、在園児9名が見守る中、お母さんと一緒に堂々と入場し、その姿には多くの温かい拍手がおくられていました。

小さくても、かけがえない「地域の宝」の晴れ舞台。途中泣いてしまったお友達もいたけれど、園生活にもすぐに慣れ、沢山の楽しい思い出を作っていくことでしょう。

ご入園、進級、おめでとうございます。

みんな仲良し入園式



野麦路



初めまして。新しく館報編集委員をさせていただくことになりました小川です。

忘れもしない六年前。雪の降りしきる新潟から、はるばる奈川に引っ越してきました。

あの時まだ小さかった我が家のわんぱく坊主も、今ではすっかり生意気盛りの少年に成長し、奈川っ子として、毎日元気に学校に通っています。

山が好きで自然が好き、それならここがいい、と軽い気持ちで暮らし始めた奈川。いつの間にか、体が奈川仕様に変わり、夏の暑さに耐えられない代わりに寒さにはめっぽう強くなりました。耳に入ってくる奈川弁もだいたいぶすらすら聞き取れるようになり、語尾に「〜なもんで」とか「〜してるだ?」など自然に出る自分の話し言葉に六年という年月をひしひしと感じる今日この頃です。(小川 江利)

